会　報



みんなの居場所

MINNANO IBASYO



茶話会やってます

月に１回、「大人の茶話会」を開催しています。
情報交換したり、経験談を聞いたり、一緒に考えたり、気持ちが共有できる人たちの間で安心して話せると、ほっとします。繋がりも嬉しい。お茶を飲みながら、お菓子をつまみながら、ぼちぼちやってます。
大人もひとりで頑張ってないで、一息つきませんか？

日程はHP,SNSにて発信しております。



今後の予定

こどもの育ちを考える学習会

3月16日(日)　2024年度第３回（九州ろうきんNPO助成）

『発達障害』という言葉はよく聞くけれど　言葉にふりまわされないために
九州大学准教授　佐々木玲仁氏　糸島市子どもの居場所「みなも」・「うみのね」運営
@前原南コミュニティセンター大研修室

6月(予定)　2025年度第１回

「子どもに『どうして学校行かなきゃいけないの？』と聞かれたら」
九州大学准教授　佐々木玲仁氏　糸島市子どもの居場所「みなも」・「うみのね」運営

8月17日(日) 2025年度第２回

映画『みんなの学校』上映会＆大空小学校初代校長木村泰子氏講演会

そのほかのたのしい企画！

(子ども未来応援国民運動助成による企画)

1月23日(木) ※雨天時 28日(火)	MUKAで遊ぼう　うまのギンガさんとふれあおう
2月20日(木)	外であそぼう！　まるゐとにあそびに行こう！
1月~2月予定	みんなで「みんなの居場所」にベンチをつくろう

▽詳細はHPから

募集　会員・寄付を募集しています

皆様のご支援で運営ができています。
ご協力どうぞよろしくお願いします。

※みんなの居場所の利用にあたって、
入会の必要はありません

年会費	会員(個人・団体)	5,000円
	賛助会員(個人・団体)	2,000円
寄付	1口(個人・団体)	5,000円
振込先（郵便口座）	01750-4-135011	

特定非営利活動法人 いとしま児童クラブ
〒819-1128　福岡県糸島市篠原東一丁目23番32号
092-332-0112
itosima.jidou.c@gmail.com

「糸島市こどもの権利条例」制定されました!!

理事長: 江頭晶子

2024年9月30日「糸島市こどもの権利条例」が制定・施行されました。こどもの権利条例の第５章は「こどもの権利の侵害に対する相談及び救済」についてです。救済機関は「こどもの権利救済委員会」を設置するとされ、救済委員会の施行は令和7年4月1日となっています。是非とも「糸島市こども権利条例」を周りの人たちと一緒に読んでみてください。

早速、12月議会終了後の19日「糸島市こども計画(案)」が出されパブリックコメント（意見募集）が始まっています。意見募集期間は12月19日～1月21日となっています。
真の「こどもまんなか社会」を構築したいと心から願っています。

2025年新しい年が始まりました。昨年は能登半島地震、そして北九州市の火事、大災害の年明けでした。今年は穏やかな年でありますようにと心から願うばかりです。
「みんなの居場所」の日々の活動については、写真等を掲載しています。
「こどもの育ちを考える学習会」第3回は2025年3月16日に開催いたしますのでご参加いただきますことを心からお願いし、報告といたします。

Daily records 日常の記録

日々、いろんな"もの"や"遊び"がつくられています！
そして、例えば公園での鬼ごっこも、いろんな年齢、いろんな体力の仲間たちで、いかにみんなで楽しめるか、自分たちで知恵を出し合いながら遊んでます。泣いたり笑ったりもしながら、みんなたくましい！遊びの力ってすごい！こども達の力ってすごい！と日々感心させられる毎日です。
糸島市こどもの権利条例第６条「**休み、自由に過ごすことができ、豊かに過ごす権利**」、大事です！

砂場ができました



みんなで芋ほり！



Xmasウィンド



おいしいごはん！



木登り楽しい！



ダンボールですべり台



ゆめをとばそう！松隈先生とのロケット教室

まず、植松努さんのメッセージ動画を観ました。こどもの時、やってみたいことを口にしたら、「どうせ無理」と言われてしまった。でも諦められずにいたら、おばあさんが応援してくれて、本を読むことを勧めてくれ、図鑑などをいっぱい読んでいたそうです。「無理」というのはやったことがない人。やったことがある人を見つけたり、やりたいと言い続けたりしていれば、必ず応援してくれる人が見つかり、方法が見つかる！「**好きなことは頑張れる！**」と植松さん。

そんなご自身の体験から、みんなの「**『どうせ無理』を失くしたい！**」、こども達に「**自分でできる！」という体験**をして欲しい、と、自分で作ることができ、本物のエンジンで空高く打ち上げることのできるロケットを発明してくれたのでした！

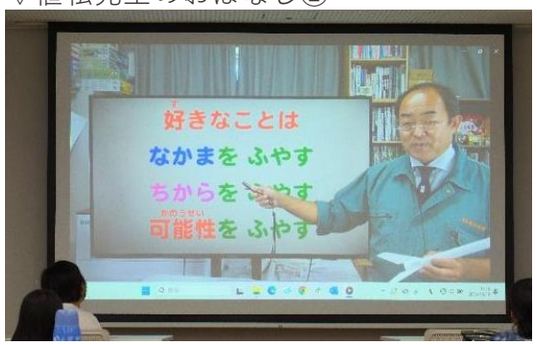
子どもたちは、福岡大学教授の松隈洋介さんの指導のもと、自分でロケットを製作し、一人ずつ青空に打ち上げていきました。参加者全員が見守る中、 すべてのロケットは無事打ち上げに成功しました。中にはパラシュートが開かなかったロケットもありましたが、松隈先生は子どもたちと一緒に修理を行い、再び打ち上げてくれました。

「失敗してもいい」「人間がつくったものは、人間がつくりなおせる！」 のです！たくさんの素敵なメッセージと体験を下さった、松隈洋介先生、植松努さん、ありがとうございました！

▽会場の様子



▽植松先生のおはなし②



▽設計図を見て自分で作りました



▽打ち上げの様子



九州ろうきんNPO助成事業

こどもの育ちを考える学習会 第２回

心ぷかぷか　みんな一緒に生きていった方がトク！

活動報告

横浜のNPO法人ぷかぷかの高崎明さんを講師に迎え、
映画上映～演劇ワークショップ～ディスカッション

「NPO法人ぷかぷか」では、障がいをもっている人を「利用者」や「障がい者」と呼ぶのではなく「ぷかぷかさん」と呼んでいます。横浜でパン屋さんや演劇ワークショップなどを通して地域の人たちと交流しています。パン屋さん開設時には、接客マニュアルなども試しましたが、**彼らしさが失われると感じ、ありのままの姿で接客することにしました。**心配もあったけど、お客さんはありのままの彼らの魅力に気づき、お店では「ほっとする」「楽しい」と、今ではファンが沢山できて賑わっています。

高崎さんは、養護学校を辞めた後も彼らと一緒にいたいという思いからこの場所を作りました。 演劇では、筋書き通りにいかないことを楽しみ、そこから生まれる予想外の物語を大切にしています。また、**養護学校の子どもたちの自由な発想から、高崎さん自身も自由になることができた**と語っていました。

ワークショップでは、放課後デイサービスゆめふうせんのこども達も含めた参加者同士でグループを作り、それぞれ**ライオン**や**ムンク**の叫びを表現したり、長田弘さんの詩「**ふろふきの食べ方**」を一人ずつ、一行ずつ朗読したりしました。 詩の朗読では、**高橋悠治さんの「ジムノペティ」**がBGMとして流れ、参加者は穏やかな時間を共有しました。「**凝り固まった身体がどんどんゆるんでいって、みんなが素敵な笑顔になっていく**」「**場がほっこり、温かくなっていく**」と、様々な年代でいろんな**人と繋がる温かさ**を感じられたようです。

高崎さんとのディスカッションでは、**なぜ、彼らを「ぷかぷかさん」と呼ぶのか**、をはじめに、沢山の質問がありました。**「心ぷかぷか 一緒に生きていった方がトク！」という言葉に共感する声**が多数寄せられ、**多様性を認め合い、共に生きることの大切さを実感したという意見**や、「**高崎さんの自由な発想や、ありのままの姿で生きるぷかぷかさんたちの魅力**に感銘を受けた」という感想がありました。

アンケートでも、**演劇を通して自己表現の楽しさを発見した、固定観念にとらわれず、もっと自由に生きてみたい**と思った、などの声が多数寄せられました。

共生社会を、とか堅苦しい理屈を言ってるんじゃなくて、まず、**素敵な彼らとふれあって一緒に生きていきましょう、そうしないと私たちがソン！**、と高崎さんはぷかぷかさんと一緒にメッセージを発信し続けています！

報告の詳細はHPで

▽ライオンのまね



▽座談会の様子



▽高崎先生の著書

